

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和三年十一月三十日

人権週間に思う

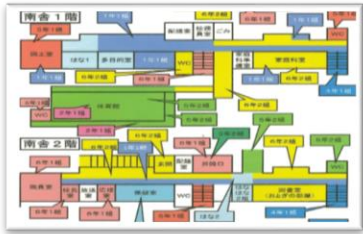
昭和二十三年十二月十日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、国連はこれを記念して十二月十日を「人権デー」としています。国内では、毎年十二月四日から十二月十日までの一週間を「人権週間」として、全国的な啓発活動が行われます。

(愛知県ホームページより)

人権週間に前に、五、六年生の習字の授業で、各クラスで考えた人権にかかわる文字を書きました。「思いやり」「幸福」「平和」「自由」です。一言で「人権」といつても、考えなければならぬ課題は多種多様です。SDGsの取り組み同様、一人一人ができることを考え、取り組んでいくことが大切です。

本校では、毎日の清掃を縦割り班で実施しています。先週の出来事です。二階の廊下掃除を担当する六年生の子の声が聞こえました。

「あれ、メンバーかわったね。名前を覚えて」と。一緒に掃除するのは一年生の四人です。六年生が掃くほうきの後を追いながら、雑巾をかけて行く四つの赤い帽子。こうした交流こそが本校の特色であると感じました。



【R3清掃分担図】

ところで、この六年生の素晴らしいところは、一緒に掃除をする子たちの名前を聞いたところです。名前というのは、個人のアイデンティティにも直結する大切なものだと思います。ジブリアニメの『千と千尋の神隠し』で、千尋やハクが湯婆婆に名前を奪われ、本来の自分を忘れてしまった話は、この考え方が根底にあるのではないかと想像します。最後に二人が自分の名前を思い出して、自分とは何だったかを取り戻します。

名前を知るということは、互いを認め合うことになります。この機会にぜひ自分の名前について考えたり、まだ知らない子の名前を聞いてみるという試みはどうでしょうか。それが、自分や周りの人を大切に、人権を考えることにつながると思います。

持久走大会優勝

イエロータイガー



今年度は、各学年の順位を縦割り班ごとに集計して、走った人数で割り、ときエグランプリの優勝チームを決めました。結果は、イエロータイガーが、僅差でブルーウルフを抑え優勝しました。ふれあいデーでは、親子で縦割り班ごとのチームに分かれ競技を行います。天気もよさそうですので、各チーム楽しく体を動かしながら優勝を目指しましょう。



十一月中に募集したお絵描きマスターには、三十二枚の絵が集まったよ。二十九日に開いた音楽マスター発表会では、四年生二人によるピアノと兼子先生のオーボエ演奏で盛り上がった。校長先生のリコーダー「ピタゴラスイッチ」を聞いて、楽譜が欲しいって言ってきてくれた子がいたんだって。吹けるようになったら、一緒に演奏する約束もしたらいい。楽しみだね。